



Since 1950

未来へ継ぐ礎に――。

 株式会社 西村砕石所

CORPORATE GUIDE

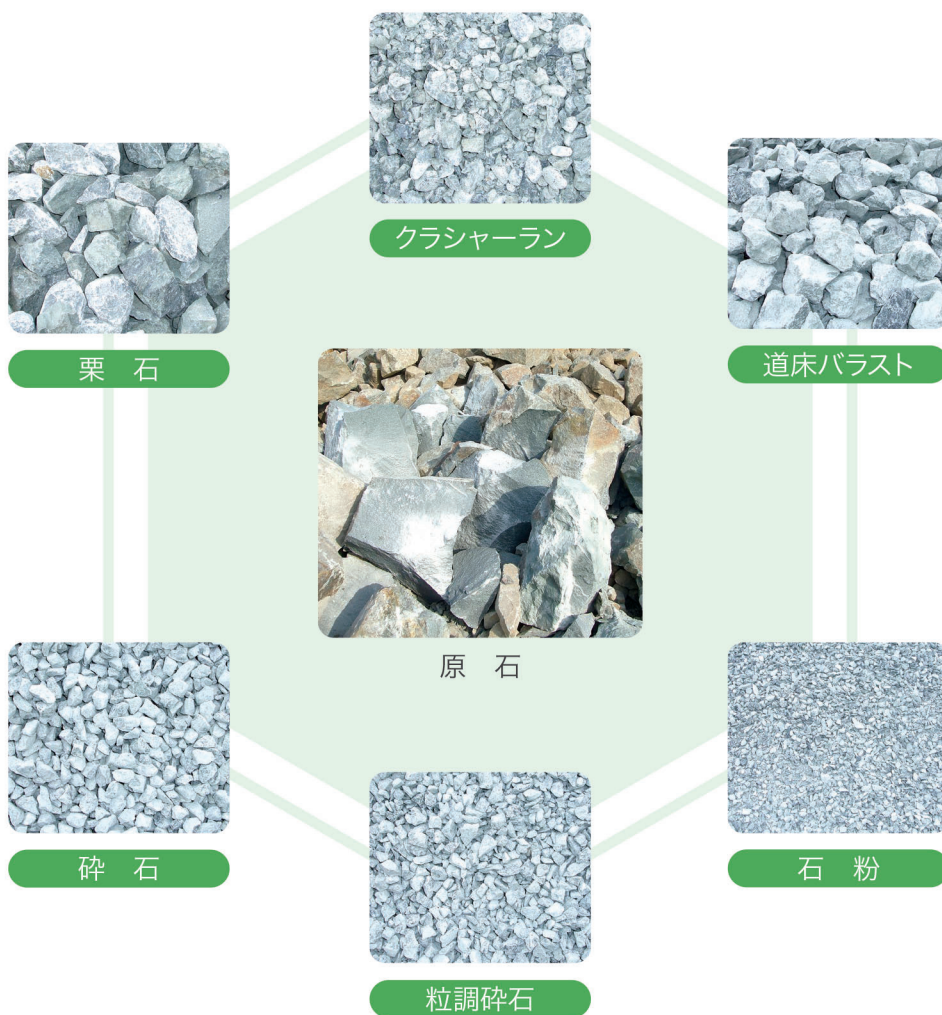
会社案内



事業活動を通じて社会に貢献し、
地域社会と共存、共生できる会社でありたい——。

砕石業

原石を破砕機などで人工的に小さく砕き、各種篩い分けした製品をコンクリート用骨材、アスファルト用骨材、その他一般土木・建築用資材、JR道床バラストとして製造・販売しています。



弊社は碎石の供給・リサイクル事業・残土処分業を通じて、社会インフラの整備・維持に貢献します。
そして、人々の暮らしと自然・環境保護のバランスを重視しながら、
地域社会との共存・共生を目指して日々努力していきます。

産業廃棄物中間処理業

弊社では、土木・建設業から発生した産業廃棄物を、新たな資源と捉え、限りある資源の有効活用として廃棄物の再資源化へと取り組んでおります。

処理工程(中間処理)



※廃棄物行政指導の基、廃棄物の搬入・受入から各種製品まで一連の流れを産業廃棄物管理票(マニフェスト)にて管理しております。

電子マニフェスト

廃棄物行政の指針に基づき、JWNET(電子マニフェスト)にも対応しております。

リサイクル製品が主流になりつつある社会情勢において、産業廃棄物の資源化への側面は多彩になり、各処理業者は、健全な管理を行い、特に自然環境に配慮した、事業運営を行わなければなりません。

弊社は、リサイクル事業を通して、環境保全、従業員一人一人の環境意識の高揚、地域社会への貢献を行っていくと共に、刻々と変化していくリサイクル事業へのニーズに、日々、研究努力を積み重ね、新たなリサイクルビジョンを提供します。



建物、道路等の解体で発生する産業廃棄物



コンクリート殻



アスファルト殻



瓦



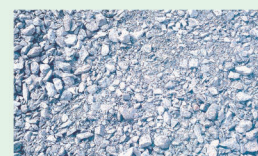
破碎機(移動式)



破碎機(固定式)/篩分機



再生クラッシャーラン



再生粒調碎石画像



再生砂

コンクリート、アスファルトの原料や、道路などの舗装の基礎や、路盤材などに生まれ変わる。



残土処分事業

公共・民間の工事等で発生する残土を受け入れ、埋立て処分するほか、専用プラントにて不純物等を取り除き細かく篩い分け、改良剤を加え土の強度を向上させ、品質の安全性を確かめた上で、建設現場の埋め戻しや盛り土などに適した改良土として提供しております。



蒲生工場



金辺作業所



残土



プラント



改良土

跡地設備

砕石業者には、各都道府県の条例により、採掘後の跡地整備が義務づけられており、採取跡の整備は、公害・災害防止、自然環境及び景観の保全に配慮したものでなければなりません。



岩石採取場



採掘後の山に赤土、土砂などを搬入



種子の散布、植林などで人工的に緑化



終屈後、人工的な緑化によって短い年月で自然を復元・回復することが可能です。掘削中は人工的な緑化だけでなく、総合的・計画的な開発・環境保全により、自然環境への影響を最小限にすると共に景観の保全・周辺環境への配慮も怠ることなく進めています。

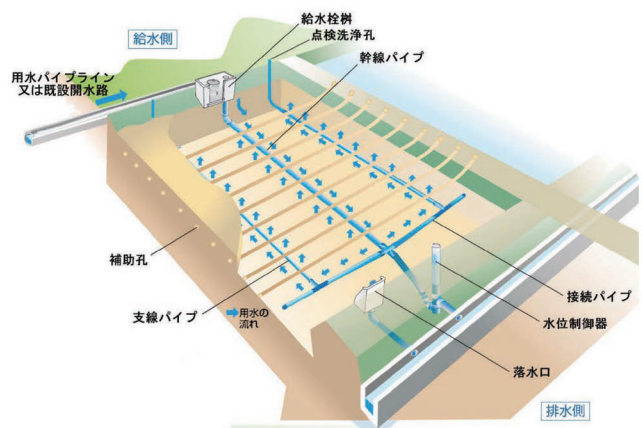
農業土木事業

近年、目まぐるしく変化していく社会情勢において、とりわけ食の安心・安全に対する意識はより高まり、国産とりわけ、地産地消に消費者の関心が高まっています。そのような中で弊社では将来の採石業跡地利用を目的として、地域農家様等の御協力のもと、耕作放棄地などの農地で、地域性を活かした農作物の生産・出荷に取り組み始めています。



ベストドレーン工法

農業分野の取り組みの中で、当社の技術・設備を活かし、特許工法である地下灌漑システムFOAS及び、ベストドレーン工法を使った暗渠排水工事等の土木事業も行っております。



「ベストドレーン工法」のメリット

- ・ 石がある土質、固い土質、軟弱土質でも施工可能
- ・ 掘削幅が狭く施工可能で、疎水材が腐食化しても表土の陥没の危険性は低い
- ・ 疎水材の使用量は少ない
- ・ 作業員数は3~4人と従来工法に比較し半減
- ・ コストは、バックホー掘削の30%以上、トレンチャー掘削の10~20%以上ダウン可能

会社概要

商号 株式会社 西村砕石所
創立 昭和25年2月22日
資本金 4千万円
営業種目 砕石及び砕砂製造販売
JISA5005
認証番号 TC 08 08 102
土木工事一式
産業廃棄物中間処理業
産業廃棄物処分業
許可番号 07620059063
役員 代表取締役 西村 康隆
従業員数 32名

沿革

昭和25年 2月 小倉市熊野町に創立
昭和32年 8月 小倉南区呼野に呼野工場開設
昭和35年 8月 営業種目に土木一式工事追加
昭和39年 8月 小倉北区熊野町の工場閉鎖し
本店を呼野工場に移転
昭和46年 8月 資本金を500万円に
昭和47年 5月 資本金を1000万円に増資
昭和50年 6月 資本金を2000万円に増資
平成02年 3月 資本金を4000万円に増資
平成11年 3月 産業廃棄物中間処理業開始
平成27年10月 小倉南区蒲生に蒲生工場開設
令和02年10月 八幡西区大字畑に大谷工場開設

関連会社

商号 伸陽運輸株式会社
所在地 北九州市小倉南区大字
呼野1035番地5
設立年月日 昭和52年11月2日
営業種目 一般区域貨物自動車運送事業
産業廃棄物収集運搬業
許可番号 04000058672
保有台数 ダンプトラック10t/車9台
許可番号 福陸自2068号

商号 株式会社 エヌ・ケイ・ケイ
所在地 北九州市小倉南区大字
呼野1035番地5
営業種目 堆肥の製造・販売
真砂土・石灰混合処理業
土木工事業

取引金融機関

- ◎ 日本政策金融公庫中小企業事業【北九州支店】
- ◎ 西日本シティ銀行【徳力支店】
- ◎ 福岡銀行【徳力支店】
- ◎ 商工中央金庫【北九州支店】



本社

〒803-0181
福岡県北九州市小倉南区大字呼野035-5
☎ 093.451.0018(代)
☎ 093.451.4616

蒲生工場

〒802-0978
福岡県北九州市小倉南区蒲生5丁目5-21
☎ 093.383.7421(代)
☎ 093.383.7421

大谷工場

〒807-1124
福岡県北九州市八幡西区大字畑576番地の3
☎ 093.617.9551(代)
☎ 093.617.0250